



岡山市区づくり推進事業助成申込書

(地域活動部門)

令和 5 年 1 月 20 日

岡山市長 大 森 雅 夫 様

フリガナ ミナガキ
団体名 御南学区ボランティア団体 ベターライフ御南
所在地
連絡先
フリガナ
代表者 役職・氏名

※ 提出した申込書の内容が、岡山市のホームページ上で公開されることに同意します。
ただし、個人情報に関する部分は除きます。

応募分野	(該当の分野を○で囲んでください。) ☒ ア 地域課題解決 イ 地域課題掘り起し ウ 地域計画づくり エ 地域課題解決型の地域組織づくり オ その他
事業名称	ベターライフ御南 ふるさとづくり活動
事業実施小学校区・地区	御南小学校区
事業実施回数	新規 ☒ 継続 3 回目 / 【令和3年度から】
課題	※地域の実情と解決をはかりたい課題、事業実施の必要性について記載してください。 ・御南小学校区は急速に市街地化した地域であり、通勤族の若い子育て世代が多い学区です。通勤族が多いことは、地域交流の希薄化の一因となっており、平成27年の御南小アンケート調査で「家族で地域行事に参加する家庭」が42%と低く、地域への無関心の改善が課題の一つです。 ・又、地域活動の基盤であった子ども会活動も加入率が10%以下と衰退しており、地域の活性化には子ども会活動に代わる子育て世代が地域で交流・活躍できる場づくりも課題の一つです。 ・御南学区では、子育て世代が地域住民と交流する場として「親子土曜塾」を開催して来ましたが、魅力ある行事実施に必要な屋内スポーツを実施する場所が無く 行事によっては受入人数にも制限がかかることより、イベント開催場所の確保も課題の一つです。
事業の目的	※事業を実施する「目的」を記載してください。 1.子ども達が自分の故郷として「誇りと愛着」が持てる学区づくりに寄与します。 ・就学前や小学校低学年からの行事参加で、多世代の地域住民と積極的に関わる場を提供します。 ・地域の伝統行事の伝承、季節の行事の伝承、友達や地域住民と楽しく交流できる場を提供し、良い思い出つくりと郷土愛を育む取り組みを進めます。 2.地域活性化のための人づくりに寄与します。 ・中学生が地域の多世代と交流・活躍できる場を提供し、御南学区の日標のひとつである、中学生を地域のミドルリーダーに育成する場となる取り組みを進めます ・子育て世代が地域の多世代と交流・活躍できる場を提供し、小学校PTA、中学校PTA、町内会活動への参加に繋がる基礎づくりの場となる取り組みを進めます。 3.高齢者が活躍できる場を提供します。 ・元気な高齢者が、多世代の住民との関わりを通して生きがいづくりの場となる取り組みを進めます。

事業の内容・感染防止対策の内容	※具体的に実施する活動内容を箇条書きで記載してください。 1.多世代交流事業「親子土曜塾」の開催(月2回、土曜日に開催) ・地域の伝統行事の体験。季節の行事(節句行事)の体験。 ・スポーツの体験。防災キャンプ等の団体活動の体験。 ・昔の遊びの体験、遊具の作成体験を通して、遊びの楽しさを体験 ・野菜づくりの体験。料理づくりの体験。 2.高齢者サロン「ふれあい土曜塾」の開催(月1回程度開催) ・手芸教室等趣味の教室を体験。ボッチャ等軽い運動の体験。 ・料理づくりの体験。 3.御南小学校体験学習の運営協力(年1回) ・地域伝統行事「舟ゆうさん」の運営協力。 ・「火起し体験」の運営協力。 ※実施する感染防止対策の内容・方法など、具体的に記入してください。 1.感染予防の啓発チラシを広報誌の裏面に作成し、学区内へ配布・回覧します。 2.会場入口で参加者受付を行い、マスク着用確認、発熱チェック、手指消毒を実施します。 又、会場内各所へアルコール消毒液を配置し、随時の消毒を行います。 3.会場への入場人数を制限しソーシャルディスタンスを確保します。 4.室内は、窓・戸を常時開放し 常時の換気を行います。 5.フェイスガード、使い捨てエプロン、使い捨て手袋を必要に応じて着用し、感染防止に努めます。 6.密の発生が予測される場所では、ビニールシートでのエリア分け、テーブルへのアクリル板設置等を行い、感染防止に努めます。
期待される成果・目標	※事業実施することで、変化すること、期待している成果、事業実施後にどこまで到達しておきたいか「目標」を記入してください。 ・多世代の住民と交流でき「あいさつ」ができる子どもが増えることを期待しています。 ・地域行事に参加する小中学生を増やし、地域の大人と交流することで、中学生になった時に地域のミドルリーダーとして活動できる人物に成長してくれることを期待しています。 ・親子での参加(特に男親の参加)を促すことで、親同士の交流が活発になり、更には地域行事や町内会活動に関心を持ち参加してくれる人財が増えることを期待しています。 ・本事業へ参加することが高齢者の励みと生きがいになり、地域で活躍する高齢者が増えることを期待しています。 ・毎年実施される御南小アンケート調査において「家族で地域行事に参加する家庭」の割合を増やし、「地域のことに関心を持つ子ども」の割合を増やすことを目標に取り組みます。
企画などの工夫	※通常、日常的に実施している事業をそのまま提案された場合は、対象とならない可能性があります。区づくり推進事業の申請にあたって、何をどう変えたのか、どこに活動の目的や対象をしぼったのかなど、企画にあたっての工夫をお書きください。 1.郷土愛を育むために、参加者を増やし、参加者が感動する行事を増やすことを心がけます。 ・パラリンピック競技のボッチャ体験会を開催し、共生社会を目指す活動に繋げて行きます。 ・野菜の苗を植え、育て、収穫した野菜を料理し、食事で頂く、食育行事を増やします。 ・昔あそび、おもちゃづくり等の素材を充実し、参加者の満足度向上を図ります。 ・新規行事や参加者が少ない行事はアンケートを実施し、行事内容の見直しを行います。 2.御南西公民館と連携し、中学生が参加する行事、中学生が企画する行事を採り入れます。 ・中学生と地域住民が参加する防災シミュレーション体験行事の開催 ・中学生が企画・運営し小学生が参加する行事の開催(遊ぼう会、防災キャンプ等)
協働する団体等	※事業実施にあたり協働することを想定している団体・企業・大学等の名称とその団体間の役割分担について記載してください。あるいは提案団体が既に協働組織となっている場合は、事業実施メンバーの備考欄に団体名をご記入ください。 (1)NPO法人岡山市子どもセンター:行事の運営協力。代表者の運営委員会への参加 (2)久米町内会(文化体育部,婦人部,子ども育成部) 舟ゆうさん、餅つき大会、等の行事の運営協力。代表者の運営委員会への参加 (3)御南西公民館(地域担当職員) 中学生企画行事の後援。行事実施状況等の公民館便りへの広報。運営委員会への参加

事業の情報公開	※区づくり推進事業は、広く区民への情報提供することが義務づけられています。地域住民をはじめ区民への情報提供、あるいは情報公開の仕方についてご記入ください。 ①情報公開の方法 ・御南小学生全員への広報誌の配布。御南学区全域への広報誌の回覧。 ・御南西公民館へ広報誌を配置し、御南中学校区へ広報。 ②情報公開の課題 ・御南学区HPへの掲載(要員育成・立ち上げ後)等、SNSの活用を目指していますが、要員育成が進んでいませんので、御南学区の重点課題として継続取り組みます。
学区・地区への広がり	※小学校区・地区より狭い範囲(単位町内会等)での事業を実施される場合は、学区・地区等への活動の広がりや課題の共有などをどのように進めていきますか。取組方について記載してください。 ・地域で活躍する子どもを育むため子どもを地域行事に積極的に参加させる取り組みを御南中学校区の共通課題として取り組み中なので今後も継続して行きます。 ・事業に使える部屋を、1部屋増やしたことで受入人数の拡大は可能になりましたが、人気のある行事には多数の参加者があり今以上の受入人数拡大は困難な状況ですので、新型コロナウイルス感染症の状況を見極めた上で御南中学校区や学区外への広がりに取り組みます。 ・現在も口コミで学区外からの参加があります。駐車場も一定数が確保出来ていますので、将来的にはSNS活用による情報発信で学区内外へ周知し、参加しやすい事業を目指します。
前年度からの見直し・拡充点	※継続事業で申請される場合は、前年度の事業の成果を踏まえ、今年度の事業の改善・拡充点を記載してください。また審査会での助言・コメント等について改善・拡充したこと、改善・拡充ができなかった場合は、改善・拡充ができなかった理由を記載してください。 1. 前年度事業から改善・拡充点 ①中学生が参加・参画する行事の開催(御南西公民館との連携) 3回～4回/年の開催をR5年も継続開催します。・防災シミュレーション体験・中学生企画・運営行事(秋・冬の遊ぼう会、等) 又、独自にインストラクター役で参加する中学生が増えています。中学生への広報を積極的に行いインストラクター役で協力してくれる中学生を増やして行きます。 ②岡山大学教育学部「ESDと総合学習」授業の履修学生(3年生)の行事参加を継続します。令和4年度は、将来教師を目指している学生を中心に10月～1月の4ヶ月間で55名参加して頂き、子どもたちのインストラクター役として活躍頂いています。 ③スポーツ単独での行事は参加者が少ない状況が続いていますので、他の行事を追加し複合形で開催する等を行い、参加者の増加が見込める行事にブラッシュアップして行きます。 2. 審査会での助言・コメント等についての改善・拡充点 ・実行委員に「若い世代を採りいれる」取り組みを継続します。実現には難しい点が多々ありますが、小中学生の保護者の方々にインストラクターを定期的をお願いしている行事が全体の2割程ありますので、行事運営への協力者を増やす方法で進めたいと思います。 ・新型コロナウイルスへの対応は、参加者の多くが小学生以下の児童という性質上、ソーシャルディスタンスの確保が困難な場面が多々発生しています。屋外行事を増やし、屋内行事の収容人数を半数にし、注意喚起を行う、ことで対応して行きます。
次年度以降の予定	※今年度の事業を受けて次年度以後どのように活動を展開していくか、また資金の確保をどのように進めていくかをご記入ください。 ①次年度以後の活動計画 ・旧白石幼稚園跡地が岡山市から借用できる間は、本事業を継続していきます。 ・事業実施に当たっては、参加者を増やし参加者が感動する行事を増やすことを心がけ、実施する行事を適時見直すことを継続して行きます。 ②資金の確保について ■次年度も区づくり推進事業を申請する予定 □() 年後には、自己資金を確保して地域の独自展開をしていきたい。 資金確保の具体的な方策:
その他PRしたい点	・参加者から、部材や食材の購入費用負担金として大人200円/回の参加費を負担して頂いておりますが、中学生以下は参加費無料とすることで、誰でも気軽に参加できる仕組みにしています。 ・R4年12月に実施した正月飾りづくりに、地域の放課後デイサービス施設から10名(内、支援が必要な児童8名)の参加がありました。当施設からの参加を継続すべく広報活動を行います。 ・季節の行事、ディキャンプや防災キャンプ等食育の伴う行事を中心に行っており、子ども食堂の要素を含ませています。

事業スケジュール (企画会議や反省会も含めてご記入ください。日程が未定の場合は月だけで結構です。)

月日	活動内容
4月 8日 4月22日 4月23日 4月 日	・親子土曜塾 舟ゆうさん ・親子土曜塾 草餅,桜餅づくり ・5月～6月の広報誌発行と配布 ・ふれあい土曜塾 (行事未定)
5月13日 5月20日 5月27日 5月23日	・親子土曜塾 夏野菜の苗植え, シャボン玉を飛ばそう ・親子土曜塾 さつま芋苗の植えつけ+【追加行事】 ・親子土曜塾 ピザづくり ・6月～7月の広報誌発行と配布
6月10日 6月24日 6月23日 6月 日	・親子土曜塾 ドーナツづくり ・親子土曜塾 ボッチャ体験+【追加行事】 ・7月～8月の広報誌発行と配布 ・ふれあい土曜 (行事未定)
7月 8日 7月22日 7月23日 7月29日	・親子土曜塾 セタまつり ・親子土曜塾 夏休み図工教室1 ・8月～9月の広報誌発行と配布 ・親子土曜塾 夏休み図工教室 (ペットボトルロケットづくり)
8月19日 8月 日 8月23日	・親子土曜塾 防災キャンプ体験 ・親子土曜塾 夏休み中学生企画イベント【平日開催も検討】 ・9月～10月の広報誌発行と配布
9月 2日 9月16日 9月23日 9月 日	・親子土曜塾 舟ゆうさんとソーメン流し ・親子土曜塾 テニス,卓球,ボッチャ体験+【追加行事】 ・10月～11月の広報誌発行と配布 ・ふれあい土曜塾
10月 7日 10月28日 10月23日 10月 日	・親子土曜塾 ボッチャ競技体験会+【追加行事】 ・親子土曜塾 お芋ほりと芋ご飯炊飯&卓球&紙芝居 ・11月～12月の広報誌発行と配布 ・御南小学校 舟ゆうさん
11月 4日 11月18日 11月26日 11月25日 11月 日	・親子土曜塾 グラウンゴルフ体験会/中学生防災避難訓練体験 ・親子土曜塾 玉ねぎの苗植え+【追加行事】 ・親子土曜塾 ピザづくり ・12月～1月の広報誌発行と配布 ・ふれあい土曜塾
12月 9日 12月16日 12月24日 12月21日	・親子土曜塾 干支の切り絵or凧づくり ・親子土曜塾 正月飾りorミニツリーづくり ・親子土曜塾 餅つき大会 ・1月～2月の広報誌発行と配布
1月 6日 1月20日 1月23日 1月 日	・親子土曜塾 昔遊び (正月遊び) ・親子土曜塾 お雛さまづくりor昔のおもちゃづくり ・2月～3月の広報誌発行と配布 ・ふれあい土曜塾 ・御南小学校 火起こし体験
2月10日 2月24日 2月21日 2月 日	・親子土曜塾 チョコレートづくり ・親子土曜塾 五平餅づくり/じゃが芋の植えつけ ・3月～4月の広報誌発行と配布 ・ふれあい土曜塾
3月 9日 3月23日 3月23日 3月 日	・親子土曜塾 テニス体験,卓球体験+【追加行事】 ・親子土曜塾 ありがとうパーティ ・4月～5月の広報誌発行と配布 ・ふれあい土曜塾

収支予算書

収 入

単位:円

項 目	前年度決算又は 決算見込額	予 算 額	内 容
岡山市補助金	270,000	300,000	
実施団体負担金	36,900	42,400	
参加者負担金	110,000	110,000	
協賛金			
寄附金、他収入	100,000	118,000	久米町内会行事運営費、他
収入合計	516,900	570,400	

支 出

単位:円

項 目	前年度決算又は 決算見込額	予 算 額	内 容(必ず記載してください)
①消耗品費	126,000	125,000	菜園作成用堆肥枠*3 プルシート(8m*8m)*2 食品容器等消耗品1式
②食糧費	6,600	8,000	会議用お茶、行事用飲料 24本×4
③印刷製本費	23,800	27,000	広報誌印刷 1300枚*12ヶ月 会議資料印刷 600枚*4回
④燃料費	30,000	33,300	ガス代、カセットボンベ代、薪代
⑤光熱水費	0	0	
⑥通信運搬費	0	0	
⑦広告料	0	0	
⑧手数料	200	800	
⑨使用料・賃借料	0	0	
⑩原材料費	280,000	310,000	土曜塾原材料費(餅つき大会原材料等)
⑪委託料	0	0	
⑫工事請負費	0	0	
⑬報償費	14,000	14,000	講師謝礼 2000×7人
⑭保険料	5,500	22,000	傷害保険 5500×4行事
⑮旅費		0	
小計(①)	486,100	540,100	
⑯新型コロナウイルス 感染症防止対策経費	30,800	30,300	フェースガード、非接触式電子温度計 使い捨てエプロン、使い捨て手袋 マスク、アルコール消毒液 ペーパータオル、ウェットティッシュ
小計(②)	30,800	30,300	
支出合計(①+②)	516,900	570,400	

◆概算交付の要否(いずれかに○をしてください。)

補助金(3/4)の概算払いを	希望する ・ <u>希望しない</u>
----------------	---------------------

※「希望する」場合は、その理由を具体的にお書きください。

--

○ 内容欄へは使用用途等を記入してください。

○ 記入欄が不足する場合は、欄を追加してください。